

A級保存版 徹底ガイド&マップ

定価 300YEN

tanaka

今年はいい!

大磯
82軒大情報

Ken DOBE

2・20 1992 No.184



E.T.アドベンチャー E.T. ADVENTURE

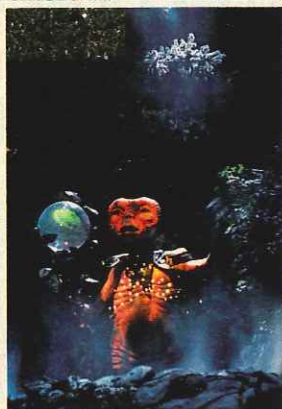
自転車に乗って、
ここでしか見られない
E.T.の故郷へ

ユニバーサル映画史上、最高の配給収入をもたらしたのが『E.T.』。その記録はいまだに破られていないというから、この映画がいかに愛されたかがわかる。このブースでは、E.T.とともに宇宙の冒険旅行をする。まず、館内へ一歩足を踏み入ると、そこはE.T.が「ホーム」へ電話(?)をかけた森。そして森の奥で自転車(もちろん前のカゴにはE.T.が入っている)に乗り込むと、のっけからすると空に舞い上がるのだ。下で騒いでいる警官たちを尻目に自転車はいつしかE.T.の故郷へ、という展開。たった5分だけ、心和める旅に酔いしれることができる。



↑E.T.人形をギフトにいかがか。大\$22.95、小\$9.95 ←E.T.ブース隣のショップはE.T.グッズのオンパレード

↑入口近くに出発するE.T.のお父さん。どうやらE.T.に帰ってこいといっているようだ。↑このブースは昨年の6月でまたはかり。子供にも大人気だ。



**E.T.の故郷「ホーム」を訪れ、
B.T.F.のデロリアンに試乗。**
トラム・ライドの横にあるのがスタジオ・センター。ここでは『E.T.』と一緒に、あの自転車に乗って宇宙まで行けるほか、『バック・トゥー・ザ・フューチャー』などの特撮や音響効果の種明かしをしてくれる。これであなただもいっばしの映画博士だ。

ザ・ワールド・オブ・シネマジック The World of Cinemagic

実際に特撮に参加し映画作りの醍醐味を味わう

SFX映画を観て、「いったい、どうやって作ってるの?」と感心したことがあるだろう。ここでは、そんな「どうして?」を面白おかしく説き明かしてくれる。まず最初は『バック・トゥー・ザ・フューチャー』。パートIIでデロリアンが雨の宇宙を突き進むシーンを、観客から有志をつつて再現。また、あのライニングスケボーの種明かしもあり、「おお、そうであったか」と感心してしまう。次はヒッチコックの『サイコ』や『逃

走迷路』のトリック説明。そして最後は『ハリー&ヘンダーソン一家』の効果音を、やはり有志とともに作っちゃおう、という豪華3本立て。感心することしきりだが、有志たちの演技にも脱帽。



↑『B.T.F.』の時計台で観客がドクを演じているところ。この人はこのあと黒焦げになってしまう



↑ヒッチコックのブースでは、『逃走迷路』で自由の女神から落ちるシーンを観客が演じ、それを本物の映画と合成する



↑有志たちの演技について笑ってしまおう。ハリー&ヘンダーソン一家の音作り、ジョン・シネマジック、映画ファンが泣いて喜びそう



↑ブリッツェル\$1.50はてかいぞ

せっかくだから、
典型的なアメリカン
スナックにもトライ



↑フローズヨーグルト\$2.50

ちょっとお腹がすいたな、と感じたら、アメリカンスナックにトライしてみよう。特にブリッツェルやチューロスは古典的アメリカ菓子だ。ブリッツェルはブリッツの元祖で、外側がやや硬め、内側は柔らかなパンのようなもの。塩がまぶしてある。一度食べると結構やみつきになりそうな味だ。チューロスは揚げドーナツ風。どちらも園内のあちこちで売っているから簡単に買える。フローズヨーグルトはトッピングをかけてどうぞ。

↑結構甘いチューロス\$1.50



↑できあがると、このような火の海に

Coming Soon 『BACK DRAFT』の爆発を楽しむ

今年の夏、ニューオープン
超過激な火災スペクタクル

去年の夏、日本でも公開されて話題になった『バックドラフト』が今年の6月(予定)によいよユニバーサル・スタジオにオープン。そのセットは現存するものを凌ぐほどの、凄まじい仕掛けが隠されているそう。映画を観た人は想像がつくだろうが、炎に混じり爆発が起き、観客の目と鼻の先までセットが崩れ落ちてくる、という聞いただけでもゾクゾクしそうな内容だ。オープンが待ち遠しい。

©1992 Universal City Studios, inc.



↑実際の映画撮影風景。これとほぼ同じものを再現。←20フィートも炎が燃え上がるんだと、映画のN・ドロブニウス氏